



## 活発な議論で 開かれた議会運営を

### ガッチリと握手の山中議長と中村副議長

人事  
特集

平成29年4月の選挙において、同じ顔ぶれで再選となった邑南町議会は、議会構成を2年で改選する申し合わせにより、5月8日に臨時議会を開き議会人事を一新しました。

議長には山中康樹議長を再選し（3回目）、副議長には中村昌史議員を初選任しました。

各委員会の委員構成も若干の変更がありました。新たな議員が委員長・副委員長に選任されるなど、議会全体の力量アップにも配慮した改選人事となっています。

現在、議会改革に取り組んでいる最中ですが、議員間討議をさらに充実させるなど、邑南町の発展のために充実した議会活動をめざします。

# 山中康樹議員が3度目の議長就任 副議長には中村昌史議員を選出

元号が令和となり、初の臨時会は5月8日に開催し、邑南町議会申し合わせ事項により、2年に1度の議会の人事構成の改選を行いました。まず、正副議長の選挙を行い、議長には山中康樹議員が当選し、3度目の議長就任となりました。副議長には中村昌史議員が選出されました。

続いて常任委員会・議会運営委員会・特別委員会それぞれの委員の選出、正副委員長の内選を行い、新しい体制が整いました。

## 就任のごあいさつ

議長 山中 康樹



始めハード事業が政策の中心でした。

人口減少対策のための定住・子育て支援等の提言・政策は少なく、また、地域資源を活用した町独自の取り組み(地方創生)などは政策の中心課題ではありませんでした。

平成16年の大合併の後に、国は全国的に地方公共団体に財政健全化を示し、国から地方への財源移譲と引き換えに補助金と地方交付税の大幅カットが進みました。

本町も行財政改革に取り組む、職員数の大幅な削減などを行い、その後、財政健全化に向け引き続き取り組んでいます。

住民サービスが多様化する中、行政経費が増える一方であり、財政面は今後ますます厳しさを増していく傾向にあります。

人口減少が一番の課題であり、山積しているさまざまな課題に対して、町長とともに地方自治の「車の両輪」である議会の役割は、今まで以上に増しております。

議会は行政の監視に加え、町民の皆さまの声をしっかりと聞きながら、新しい時代に対応した持続可能な町づくりに向け、進んでまいります。ご協力をよろしくお願い申し上げます。

この度の副議長選挙におきまして、多数の議員諸兄のご推挙により、副議長に就任させていただきました。身に余る光栄と存じ感謝いたしますとともに、責任の重大さを痛感しております。

現在、全国的な議員のなり手不足や議会に対する関心の低下など、地方議会を取り巻くさまざまな課題が取り上げられて

副議長として議長を補佐することは勿論ですが、積極的に地域に向いていくことも心がけたいと思っています。町民の皆さまの今まで以上の指導、ご協力をお願い申し上げます。

副議長 中村昌史



議長選挙		
当選	山中康樹	7票
	清水優文	5票
	石橋純二	3票
副議長選挙		
当選	中村昌史	7票
	日野原利郎	4票
	大屋光宏	3票
	石橋純二	1票

# 各委員会の委員長



石橋 純二  
総務教民委員長



亀山 和巳  
産業建設委員長



大屋 光宏  
議会運営委員長

議会運営 大屋光宏 議員  
産業建設 亀山和巳 議員  
総務教民 石橋純二 議員

## 各委員長のコメント

議会活動の中心舞台になるのが「常任委員会」で、議会運営の水先案内をするのが「議会運営委員会」です。ともに、活発な委員会活動には委員長の手腕は欠かせません。今回は、それぞれ、委員長経験者が再登板ということで、これまでの経験の見せ所です。新しい委員会運営にご期待下さい。

議長以外の議員は2つの常任委員会のどちらかに属します。各常任委員会は7人の構成です。議会運営委員会は、副議長、各常任委員長2人、広報委員長、他議員3人の7人で構成しています。

### ●議会運営委員会

大屋 光宏 委員長

議会は、「邑南町議会基本条例」に基づき、議員間討議や住民との意見交換会を行い、町民に分かりやすい議会運営をめざしてきました。

しかし、意見交換会の参加者は少なく、議会への関心が高いとは言えません。

町民の信用を得て議会への関心が高まるよう、議員の本来の使命である「具体的な政策の最終決定」と「行財政運営の監視」の職責を果たすため、より一層議論の深まる議会運営に努めていきます。

### ●産業建設常任委員会

亀山 和巳 委員長

元号も改まり、令和の時代になりましたが、私たちを取り巻く環境は、これまで以上に予期せぬ変化やさまざまな変化が想定され、議会としてのしつかりとした対応が求められていると思います。

今、本町が力を入れて進めている定住施策では、農業をはじめとする産業振興や、働く場の確保が重要な課題になっています。

それに関わる常任委員会所管の事務事業の審議を充実し、委員会として適格な判断や提案ができる、活発な委員会となるよう委員会運営に努めてまいります。

### ●総務教民常任委員会

石橋 純二 委員長

行政機構の改編により、企画財政課が従来の財政に税務を加え、財務課となりました。

少子高齢化が進み、人口減少社会の到来は財政面に大きな影響が出ます。行財政改善計画の着実な実行が求められ、厳しい決断が迫られています。「日本一の子育て村構想」の更なる進展や「2025年問題」といわれる医療・福祉分野の改革や防災等、山積する重要課題に対して果敢に対処しなければなりません。

# 委員会の構成

委員長	大屋 光宏	
副委員長	三上 徹	
委員	石橋 純二 辰田 直久 大和 磨美	亀山 和巳 中村 昌史



## 議会運営

委員長	亀山 和巳	
副委員長	和田 文雄	
委員	三上 徹 大屋 光宏 瀧田 均	清水 優文 宮田 博



## 産業建設

委員長	石橋 純二	
副委員長	漆谷 光夫	
委員	辰田 直久 中村 昌史 大和 磨美	日野原利郎 平野 一成



## 総務教民

4月1日付けの人事異動により、議会事務局長を拝命いたしました。

町議会とは、日本国憲法で定められた議事機関であり、議会議員は住民代表として、住民の視点で議案を審議し、議会事務局は行政の視点から議案を分析し、この融和によって、よりよい議案の審議が実現し、住民福祉の増進に寄与することになると考えます。

事務局として、二元代表制の調整役として、また、議会議員の皆さんの支えとなれるよう努力していきたいと思っております。

### 局長コメント



柳川事務局長

### 事務局長に 柳川修司氏

# 採決の結果

## 5月臨時会 議案の ゆくえ

### 専決処分など11件を承認可決

5月8日臨時会を開催しました。  
専決処分の承認を求める議案が6  
件、条例関係の議案1件、財産の取得  
が1件、令和元年度補正予算1件上程さ  
れ、議員発委2件を含め、全てを承  
認、可決しました。

区分	議案の内容	賛成	反対	結果
専決	条例	14	0	承認
	町税条例等の一部改正	14	0	
	町国民健康保険税条例の一部改正	14	0	
	30年度補正予算	14	0	
	町一般会計補正予算第11号	14	0	
	町国民健康保険事業特別会計補正予算第6号	14	0	
可決	町国民健康保険直営診療所事業特別会計補正予算第7号	14	0	
	町後期高齢者医療事業特別会計補正予算第4号	14	0	
	条例	14	0	
	改元に伴う関係条例の整備について	14	0	
	その他	14	0	
財産の取得について（小型動力ポンプ付積載車）	14	0		
予算	14	0	可決	
令和元年度町一般会計補正予算第1号	14	0		
発委	14	0		
町議会委員会条例の一部改正について	14	0		
町議会の議員報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について	14	0		

### 平成30年度3月専決補正

	3月補正後の額	3月専決補正額	3月専決補正後の額
一般会計	119億8374万円	△6125万円	119億2248万円
国民健康保険	14億4779万円	△1372万円	14億3407万円
直営診療所	2億8328万円	△993万円	2億7334万円
後期高齢者医療	3億7033万円	37万円	3億7070万円
下水道	9億1529万円	—	9億1529万円
電気通信	4億7622万円	—	4億7622万円
特別会計合計	34億9290万円	△2329万円	34億6961万円
総合計	154億7664万円	△8454万円	153億9210万円

平成30年度3月専決補正の減額の要因は  
事業費の確定によるものです。除雪費の減  
や地域おこし協力隊員の減、全国的な災害  
の多発により地方交付税が減額になったこ  
とから、財政調整基金を充当し、財源を調  
整しています。

### 令和元年度5月補正予算

	当初予算の額	5月補正額	5月補正後の額
一般会計	114億5500万円	△1億4011万円	△113億1489万円
国民健康保険	13億7900万円	—	13億7900万円
直営診療所	1億300万円	—	1億300万円
後期高齢者医療	3億5400万円	—	3億5400万円
下水道	9億5100万円	—	9億5100万円
電気通信	4億5800万円	—	4億5800万円
特別会計合計	32億4500万円	—	32億4500万円
総合計	147億0万円	△1億4011万円	145億5989万円

令和元年度補正予算の減額の要因は防災  
無線更新事業費の減額によるものです。財  
源においては、当初予算で起債をしていた  
もののうち、防災行政無線基本調査委託料  
を起債の対象外としたため、財政調整基金  
を充当し財源を調整しています。

補正額は千円未満で四捨五入しています。

# 特別委員会委員長のコメント

## ● 浜田作木線改良促進

瀧田 均 委員長

引き続き、浜田作木線改良促進特別委員会の委員長に選任されました。この2年間、県央原土整備事務所への要望活動や、町内の期成同盟会等との情報交換など職責に務めてまいりました。浜田作木線は、主要地方道として位置付けられており、現在「高見工区」

「吉原工区」が改良工事の施工中であります。この工事には補正予算も配分されるなど、今のところおおむね順調に改良工事が進捗しています。

今後とも、早期の全線改良をめざし要望活動を強める等、地域の方々とともに取り組みを図ってまいりたいと思います。



## ● 議会広報

大和 磨美 委員長

議会広報を通じて、町民の皆さんに議会での議論の様子や審議の内容を正確にわかりやすく、スピーディーにお届けしたいと思います。

そのために、紙面のレイアウトや編集技術の向上に努めていきます。

また、インターネット中継の導入やケーブルテ



## ● 議会改革

辰田 直久 委員長

今春実施しました定数や報酬額、議員のなり手不足、議会のあり方などのアンケートでは、全配布数の3分の1を超える約1500通の回答をいただき町民の皆さまのご協力に感謝いたします。

また、議会や議員に対し大変厳しい意見をいただき、初心に戻らなければならぬ点も多いと感じました。執行部への要望も多くありましたので、議会活動に反映すべきと考えています。

なお、アンケート結果は議会で集約し、皆さまに公表するとともに、身近に感じていただけたらと思います。



# 議員紹介

任期残り2年間よろしく  
お願いいたします

(注) 紹介内容は上から、議席、写真、氏名、年齢、住所、職業、所属政党、当選回数(合併前含む)、議会での主な役職です。

5	4	3	2	1
				
宮田 博 (70) 井原1248-1 農業 無所属、2回 監査委員 産業建設委員	和田 文雄 (66) 三日市273-5 農業 無所属、2回 産業建設副委員長 議会広報副委員長 総合事務組合議員	平野 一成 (60) 下田所906-1 商業 無所属、2回 総務教民委員 議会改革副委員長 公立病院組合議員	瀧田 均 (60) 日貫3168 農業 無所属、2回 産業建設委員 浜作線委員長 議会広報委員 公立病院組合議員	大和 磨美 (45) 下田所329 販売員 無所属、2回 総務教民委員 議会運営委員 議会広報委員長 議会改革委員
10	9	8	7	6
				
清水 優文 (74) 矢上1035-2 農業 無所属、5回 産業建設委員 議会広報委員	日野原利郎 (67) 矢上3401 農業 無所属、3回 総務教民委員 議会広報委員 浜作線委員	中村 昌史 (64) 下口羽1283 建築設計業 無所属、3回 副議長 議会運営委員 議会広報委員 浜作線委員 議会改革委員 総合事務組合議員	大屋 光宏 (51) 矢上1426 農業 無所属、3回 産業建設委員 議会運営委員長	漆谷 光夫 (73) 矢上446-4 無所属、2回 総務教民副委員長 議会改革委員 総合事務組合議員
15	14	13	12	11
				
山中 康樹 (65) 伏谷498-2 農業 自由民主党、8回 議長 浜作線委員 総合事務組合議員 公立病院組合議員 消防組合議員	三上 徹 (72) 上田1437 農業 無所属、8回 議会運営副委員長 産業建設委員 浜作線委員 消防組合議員	石橋 純二 (71) 原村504-2 商業 無所属、7回 総務教民委員長 議会運営委員 議会改革委員 浜作線委員 公立病院組合議員	亀山 和巳 (64) 市木46 農業 無所属、6回 産業建設委員長 議会運営委員 議会改革委員	辰田 直久 (59) 中野758 会社員 無所属、6回 総務教民委員 議会運営委員 議会改革委員長 公立病院組合議員

# 新しい議会人事 (令和元年5月)

◎委員長 ○副委員長

議長	山中 康樹
副議長	中村 昌史
事務局長	柳川 修司
統括課長補佐	日高 泉

区分	正副委員長	委員
総務教民常任委員会	◎石橋 光純 ◎漆谷 夫二	辰野 直久 日野 利史 中村 昌成 大平 美
産業建設常任委員会	◎亀山 文和 ◎和田 雄巳	三上 徹 清水 宏 大屋 博 宮田 均
議会運営委員会	◎大屋 光徹 ◎三上 徹	石橋 純二 亀山 和久 辰田 直史 中村 美
邑南町監査委員 (議会選出)	宮田 博	
議会広報特別委員会	◎大和田 文磨 ◎和田 雄美	清水 優文 日野 利史 中村 昌成 瀧田 均
浜田作木線改良促進 特別委員会	◎瀧田 徹均 ◎三上 徹	山橋 康樹 石橋 純二 日野 利史 中村 昌成
議会改革特別委員会	◎辰野 一直 ◎平野 成久	石橋 純二 亀山 昌史 中村 美夫 大和 美

区分	委員及び理事等
邑南郡総合事務組合	山中 康樹 漆谷 光夫 中村 昌史 和田 文雄
邑智郡公立病院組合	山中 康樹 山田 直久 辰田 均 石橋 純二 平野 一成
江津邑智消防組合	山中 康樹 三上 徹
町国民健康保険事業の 運営に関する協議会	大屋 光宏 平野 一成 漆谷 光夫
邑南町児童福祉審議会	大和 磨美
水明ヶ力ソーラーパーク 環境保全管理委員会	平野 一成
邑南町開発公社	山中 康樹 亀山 和巳 石橋 純二
邑南町学校給食会	山中 康樹 石橋 純二
邑南町上下水道委員会	中村 昌史 和田 文雄 宮田 博
邑南町表彰審議会	石橋 純二 中村 昌史 清水 優文
邑南町奨学生審査 委員会	山中 康樹 石橋 純二
邑南町生活交通検討 委員会	中村 昌史 大和 磨美 瀧田 均
邑南町行財政 改善審議会	清水 優文
邑南町 民生委員推薦会	清水 優文

## 編集室の窓



▼2年毎に行われる議長選挙。今回は立候補者が3名もおられ、選挙の前にそれぞれが所信表明された▼先輩議員のそれぞれの思いを聞きながら、町政に対する熱い思いと町民の代表であるという強い責任感を感じ、私も初心忘るべからずと胸の内を引き締めた▼常任委員会のメンバーも一部変更があり、また4月の人事異動で町執行部の顔ぶれも変わった。少しの変化ではあるが、その変化が良い変化となるよう、実のある議論、是非々の議会でありたい。

(大和磨美 記)